

石川県立自然史資料館の令和6年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 竹上 勉
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日
中期経営目標 (R4～R8)	①入館者数を5年間で、7,000人にします。 ②館外事業（体験講座、ミニ講演会、野外観察会等）の参加者数を5年間で3,200人にします。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	・企画展「人々のくらしと石」「手取川の植物」「海の巨大生物展」を開催しました。（参加人数7,295人） ・普及講座「地層の観察」や自然史講演会「学校理科室の標本が語る日本のライチョウ」など、計26回実施しました。（参加人数251人） ・館外展示（「いしかわの里山里海展2024」、「令和6年度マナビィフェアin本多の森」）を開催しました。（参加人数890人） ・「ダイオウイカの謎に迫る ～イカにしてダイオウイカを標本にするか～」（県立図書館と連携、参加人数63人）等、連携イベントを実施しました。 ・新規展示物（コウノトリの巣など）を導入しました。
② 広報活動	・県立図書館との連携イベント（「葉っぱの染め物体験」など6件）を継続し、案内チラシ等の広報物を作製することによって、広報の機会が増大しました。 ・団体利用の促進をはかるために、学校等への施設訪問し、広報活動を積極的に実施しました。利用活動例など具体的なプログラムを示すなど、利用の促進を図り、団体利用が大幅に増加しました。

(2) 令和7年度における取組内容の見直し等

実施内容
・敷地内の植栽剪定等を実施し、環境整備に努める。 ・PR活動を引き続き積極的に行い、施設周知を図り、「広く開かれた博物館」を目指す。 ・館外事業にも積極的に取り組む。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1年 度 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	6,107人	3,546人	4,281人	9,135人	213.4%	149.6%	7,000人
(2) 館外事業参加者数（人）	1,955人	3,972人	2,512人	3,282人	130.7%	167.9%	3,200人
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.0	97.9	100.0	100.0	.0ポイント	2.0ポイント	95.0
施設の維持管理(%)	98.4	100.0	100.0	97.2	-2.80ポイント	-1.20ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	学校訪問等の積極的な広報活動により、展示見学等の一般来館者数および団体利用者数（小学校の遠足等による大人数の利用など）が目標値を上回り大幅に増加した。	県立図書館等との連携による広報の成果が出てきている。また、コロナ禍後の団体向けの広報活動の効果は大きい。
館外事業参加者数	これまでの実績により、当館の活動が周知されはじめ、館外の団体利用等が増加したことによる。	いしかわの里山里海展等の館外展示の実施が定着し、安定した参加者数がえられるようになった。小学校総合学習等の講師派遣事業も定着している。

<利用者アンケート結果（令和6年4月～令和7年3月実施 有効回答数77件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	89.6	10.4	0.0	0.0
施設の維持管理(%)	83.1	14.1	2.8	0.0

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃:年179日 ワックス清掃:年1回(一部2回) 剥離清掃:年1回 硝子清掃:年1回 受水槽清掃:2024年度は無し. 2025年度に実施予定 廃棄物収集:可燃物のみ週2回
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物:月次点検月1回/年次点検年1回 昇降機保守点検:2024年度は故障のため運転休止. 2025年度から年6回/建築基準法に準ずる自主検査年1回 消防用設備機能点検:年1回/総合点検年1回 空調保守点検:年2回 収蔵庫燻蒸:年1回 ヴァイケーン被覆2基3日間
(3) 植栽維持管理	除草作業:年2回
(4) 警備	機械警備(24時間体制) 警備上必要な機器の管理
(5) 小規模修繕	植物収蔵庫1加湿器修繕・動物収蔵庫2除湿ヒューミディスタット取替・Cホール天井エアコン機能低下点検清掃・自然探検広場エアコン冷媒配管修繕・教育普及棟/研究収蔵棟屋上水漏れ防止工事・石工室天井裏漏水点検及びジプトン貼替・植物収蔵庫3空調機修繕

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの確認 ・消防訓練の実施(年2回実施)
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位:件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			
合 計	0	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位:千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
該当なし			
合 計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	45,482	人件費	25,024
利用料収入	0	光熱水費	8,554
その他	4	修繕費	940
		その他	11,019
合 計 ①	45,486	合 計 ②	45,537
収支差額 ①－②	-51		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和6年6月	図書室までのろうかに「この先展示なし」のポールが立っており分かりにくかった。	ポールを移動した。
令和6年6月	企画展（人々のくらしと石）のパンフ・解説書がほしい。	当該企画展は最終日だったため、次回は展示の手引き等を準備する。
令和6年8月	空調・湿度など展示物への影響が気になりました。館内の導線がわかりにくい。展示のグルーピングがわからない。企画展（手取川の植物）の資料が古く、目的がわからない。	・必要に応じて温度湿度管理を実施している。 ・館内導線案内を設置した。展示の見出しを表示する。 ・企画展は過去の古い標本・調査資料と最新の調査資料を比較するもので、手取川の植物の移り変わりを伝えるという目的に沿った内容であった。展示はより一層の工夫と改善を心がける。
令和6年12月	ほんものの生きものを展示したらいいと思う。	展示可能な時期は積極的に生態展示を行う。
令和7年2月	道がせまい。駐車場案内があれば良い。	ホームページの交通案内を修正した。
令和7年3月	猫についてもやってほしい。道がわかりづらい。	様々な対象を取り上げるよう検討する。ホームページの交通案内を修正した。
令和7年3月	鳥の鳴き声が聞きたかった。	音声展示の点検を徹底する。
令和7年3月	猛禽類スペシャルを展示して下さい。	幅広い内容の展示を実施していく。
令和7年3月	甲殻類をメインとした展示、他の生物展、物理や科学の展示があったら来たい。	過去の実施展示の再利用等を検討する。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・学校訪問等の積極的な広報活動により、展示見学等の一般来館者数および団体利用者数（小学校の遠足等による大人数の利用など）が増加し、目標値を大幅に上回った。 ・いしかわの里山里海展等の館外展示の実施が定着し、安定した参加者数がえられるようになった。小学校総合学習等の講師派遣事業も定着している。 ・HPの充実のほか、SNSを使った情報発信等にも努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	・施設内は清潔に保たれている。修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するよう努めてほしい。
(3) 管理運営体制	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 ・個人情報については職員に周知徹底が図られており適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	・概ね仕様書に基づいた適切な管理運営がなされている。学校訪問等の積極的な広報活動により、大幅に利用者数が増加した。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項